

みんな、かがやく

小学校の取組

明治小学校

みんなで、つくる「縦割り班活動」

取組内容

明治小学校では、異年齢の児童同士が協力し、よりよい人間関係を築くことをねらいとして、縦割り班活動を行っています。今年度は、1年生から6年生で編成された28の班が活動しています。

班長を中心にして、6年生の児童が、主体的に全学年の児童が仲良く楽しく遊べるように計画を立て活動を進めています。担当の先生にも相談しながら、時間の配分や遊びのルールなども検討していきます。活動の最後には、振り返りを行い、楽しかったことや次に遊びたい遊びなどを伝え合います。「お姉さんお兄さんが楽しかった。」「遊びを考えてくれてありがとう。」など温かい感想が聞こえてきます。回を追うごとに交流が深まりました。

取組のPOINT

- ☑ 定期的に班長会議を行い、それぞれの班の成果と課題を共有して次回の活動に生かす。
- ☑ 担当教員は、6年生が考えた計画書を見て、児童が主体的に楽しく実践できるかアドバイスを行う。
- ☑ Chromebookを活用して遊び方の説明を行い、下学年の児童も分かりやすいように工夫する。

取組の様子

下学年の児童に優しくする姿が輝いています。笑顔で遊ぶ姿が多く見られます。



深川小学校

開校150周年「未来へつなぐ」

取組内容

本校は、今年度開校150周年を迎えました。そこで『「みんなが楽しい学校」を創ろう!』を目指して、深川小の150回目の誕生日を様々な活動を通して、みんなでお祝いしました!

【主な取組】

1・2年生 開校150周年お祝い横断幕のデザイン!

3・4年生 開校150周年お祝い航空写真デザイン!

5・6年生 スローガン作成 周年記念児童集会・手作り御神輿巡行企画・運営

どの学年も、一人一人がアイデアを出し合い、それをみんなですべてのものに創り上げました。

そして、150周年を記念した様々な行事を通して、みんなの心が一つになり、深川小150回目のお誕生日をみんなでお祝いしました。

取組のPOINT

- ☑ 低・中・高学年ごとに、企画・制作・運営
- ☑ 一人一人がアイデアを出し合い、合意形成を図りながら、一つのものを創作!
- ☑ それぞれの企画・提案を全校児童みんなですべて共有し、みんなで称え、みんなで楽しむ!

取組の様子



高学年スローガン「未来へつなぐ」と低学年のデザインがコラボした横断幕



みんなで誕生日を祝った「周年記念児童集会」



クラスごとに作った御神輿を担いで、保護者や地域の方と、みんなで「わっしょい!」

みんなのアイデアが一つに! 地域のキャラクター「のらくろ」ともコラボ!



八名川小学校

協力して！「たてわり班清掃」

取組内容

「たてわり班清掃」として、全学年が「月・火・木」曜日に学校全体をグループで分担しながら、協力して清掃活動を行っています。

はじめと終わりのあいさつは「3・4年生」。全体の指示と低学年のフォローは「5・6年生」。協力してできたかどうか確認するのは「1・2年生」と、各学年が役割を分担して、「みんな、かがやく」活動になるように工夫しています。「汚れているところが残っていないか。」「ごみ箱の中身は捨ててあるか。」「ほうきや雑巾はきちんと片付けて、整頓してあるか。」毎回きちんと確認しています。

さらに他にも自分たちにできることはないかと考え「八名川公園」のごみ拾いを行うようにしました。地域の奉仕活動も積極的に行っています。

取組のPOINT

- ☑ たてわり班で協力することで「達成感・充実感」を味わいながら、学校全体をきれいにすることで、人の役に立つ気持ちをもって「自己肯定感」が育ちました。
- ☑ 異学年での活動をとおして、リーダーシップやフォロワーシップが育ち、「ひとりひとりがかがやく」自分の役割を自覚するようになりました。

取組の様子

「教室」「廊下」「公園」
みんなできれいにすると、
気持ちいいね！！



臨海小学校

伝統の継承「臨海小学校鼓笛隊」

取組内容

昭和36年に誕生し臨海小学校の歴史とともに続く鼓笛隊を受け継ぐことで、本校を誇りに思う心情と伝統を大切にすることを目的としている実践です。

学校の代表として活躍しているという自信や、全校の手本となろうとする気持ちを育て、主体的に行動できる力を伸ばし、自己肯定感を高めます。

【鼓笛隊について】

1964年10月の東京オリンピックの前夜祭にも出演し、地域や保護者、卒業生の誇りとなっている。6年生全員がそれぞれ楽器を担当。校内や地域行事で活躍。

【主な活動】

- ・体育発表会など校内行事等での発表、演奏
- ・江東こどもまつり「オープニングパレード」参加
- ・深川っこ運動会「オープニングセレモニー」参加
- ・杖与式を含む5年生への引継ぎ など

取組のPOINT

- ☑ 引継ぎ時には5年生と6年生がペアになり、担当した楽器を教え合うようにする。
- ☑ 児童が主体的に活動できるよう、練習時間や場所を確保し選択できるようにする。
- ☑ 振り返りの意見交換の中で、互いのよさを認め、全体で高め合おうとする姿や発言が増えていった。
- ☑ Chromebookに手本の動画を掲載し、個々に時間を選んで練習を行えるようにした。

全校から「すごい かわいい」「自分も早くやりたいな」という声

取組の様子



越中島小学校

なかよしの輪を広げよう「かもめ隊活動」

【取組内容】

年間を通して、異学年交流の機会をもち、仲良く楽しい学校づくりを目的とした取組を行っている。

①縦割り班を「かもめ隊」と名付け、全学年が親しみもって取り組めるようにしている。

(1) 月1回程度ペア学年をつくり、上学年がリーダーとなり、遊びの計画・実施を行っている。

(2) ボランティア清掃を行い、環境美化への意識を高める。

(3) 短縄や長縄を教えたり、跳んだ回数を数えたりする活動を通して、上学年は下学年を思いやる気持ちを育て、下学年は上学年に憧れをもつことができる活動になっている。

②低・中・高学年でかわりをもち、上学年の学習や態度を学ぶ機会としている。

(例) 1, 2年生が昔遊びを行う。

3, 4年生で学習発表会を行う。

5, 6年生で委員会等の引き継ぎを行う。



【取組のポイント】

◆年間を通して様々な異学年交流を行う。

◆ペア学年を変えることで、児童同士のつながりが広がる。

◆児童の自主性を高めるために、児童自身が話し合っ活動内容を決める。



【取組の様子】



2年生が1年生にけん玉を教えています。



ペア学年でボランティア清掃をしています。



休み時間に異学年で長縄の練習をしています。



6年生が1年生になわとびを教えています。



数矢小学校

トリプル ワンダフル

『数矢SDGs111まつり』

取組内容

令和5年9月30日(土)に数矢小学校の111周年に合わせて『数矢SDGs111まつり』を開催しました。

SDGsを自分事としてとらえ、自分に何ができるかを発達段階に応じて考え、こどもたち自らが主体的に企画運営を行います。

当日は、各学級で創意工夫したワークショップを開き、全校児童が互いに学び合う姿が見られました。また、児童相互のよりよい関係が築かれ、思いやりの心を育きました。さらに、保護者や地域関係者、近隣幼稚園・保育園を招待し、交流を深めました。交流する場面を設定することで目的意識をもつことができ、こどもたちの主体性が高まりました。

取組のPOINT

- ☑ 発表する内容や方法を学年の実態に合わせて、できる限り児童が中心となって企画・運営。
- ☑ 自分たちでどんどんアイデアを出して、実際に活動に移すことができる実践力の向上。
- ☑ アイデアを出し合うためのツールとしてclassroomや合意形成のためのGoogle formsの活用

取組の様子

みんなで力を合わせることを学んだ。今後は、もっと分かりやすい説明ができるように工夫したい。



平久小学校

Hey!Qアクション

取組内容

『心豊かな子』の育成を目指して

- ①平久幼稚園との交流(主に5年生と園児)
- ②花の平久 菊づくり (全校児童、兄弟学年による)

①併設園のよさを生かし、5年生と平久幼稚園の園児が年間を通じて、読み聞かせやダンスなどの交流活動を行っています。こどもたちが主体となって計画し、異年齢で関わる機会となっています。

②昭和五十五年頃から、地域の方にご協力いただき、菊の栽培を行っています。兄弟学年で関わり合いながら栽培する中で、植物を大切にする心や、人を大切にする気持ちを育てています。

取組のPOINT

- ☑ 交流活動では、5年生が主体的に計画した内容で行い、人を大切したり、されたりする喜びを感じられ、自己肯定感を育む。
- ☑ 菊の栽培では、全校児童で行う一体感と異学年交流の楽しさを大切にする。観察には、Chromebookを効果的に活用している。

取組の様子

「ワクワク！」
こども一人一人を大切に
する活動となっています。



東陽小学校

みんなで作るみんなのダンス
「ダンス・アカデミー」

取組内容

専門学校「滋慶学園」との連携による「ダンス・アカデミー」を6月と11月に3年生から6年生の児童を対象に実施しました。心身を解放して踊ることの楽しさや心地よさを味わうことを目的とした、オリパラレガシーの実践です。また、夢に向かって努力している姿を間近にすることで、憧れをもち、自己を高めようとする意欲を育成するキャリア教育も目的としています。

グループ毎に振り付けや隊形移動などを学生たちと考え、楽しく活動します。休み時間に曲をかけて踊っている児童もいました。1日1コマを2日間行い、3コマ目にはその成果を舞台上で踊り、学年で発表し合います。大きな拍手と歓声に包まれ、どの子もきらきらと輝いていました。

取組のPOINT

- ☑ 発表会というゴールを設定したことで、意欲的に練習に取り組む児童の姿がたくさん見られた。
- ☑ 夢に向かって努力を続けている学生との交流から、恥ずかしがっていた子も堂々としたキレッキレの踊り手に！
- ☑ タブレットを使って自分たちの動きを客観的に確認し、グループで工夫することができた。

取組の様子

「はじめは難しいと思っていたけど、やってみるとうまくできてうれしかった」「ダンスは苦手だったけど、丁寧に教えてくれたから、楽しく踊れた」「とても楽しかったのでもっとやってみたい」



南陽小学校

みんなの学校「なんようしぐさ」

取組内容

毎年、5年生の総合的な学習の時間で、「みんなが安心して楽しく過ごせる学校にしていくために必要な仕草」を考えています。できたものは「なんようしぐさ」と称し、翌年6年生として、一年間をかけて全校児童に推奨しています。

しぐさを作成していく過程で、全校児童対象にGoogleフォームでアンケートをとったり、ミーティング機能を活用してしぐさの発表を行ったりしています。

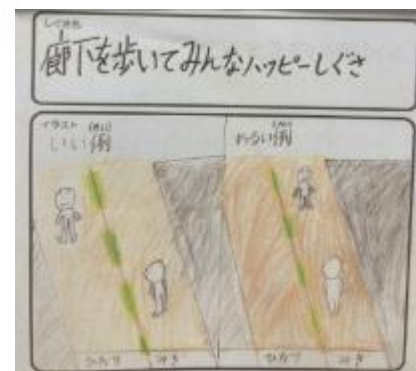
アンケート結果をじっくりと考察し、「南陽小学校のよいところはよき伝統として残していこう」や「みんなが元気に挨拶できると明るい学校になるね」など、自分たちで明るく楽しい学校を創り上げていこうとする児童の姿が見られています。

取組のPOINT

- ☑ 調査方法、実施計画についても児童が企画。
- ☑ 全校児童でよりよい学校を創っていこうという意識の高まり。
- ☑ 学校の現状を知るために、全校児童を対象にしたGoogleフォームを活用。

取組の様子

「みんなが楽しく通える学校」を創っていこうとする児童の姿が見られました。



川南小学校

川南こどもまつり

～自分たちのための自分たちによるおまつり～

取組内容

9月21日1・2校時に児童の創意を生かし、全学年で学校中を使って手作りの遊びで楽しんだり楽しませたりする取組を行いました。

児童会が中心となって企画し、**こどもが主体**となって事前の話合いや準備に取り組みました。

当日はきょうだい学級のペアやトリオで各学級のお店をまわりました。上学年が下学年の意見を聞きながら、どのお店をまわるか決める姿が見られました。

この取組を通して、**学級の連帯感や協調性を高めるとともに、きょうだい学級を活かして、下級生と上級生の交流を深めることができました。**

取組のPOINT

- ☑ お店の内容・計画・準備・運営など、こどもが主体となった。
- ☑ 上級生は思いやりの心が育まれ、下級生は上級生への憧れの気持ちが育まれた。
- ☑ ポスター作り、ゲーム説明でタブレットを活用
こどもの中でもペーパーレスの考えが浸透した。

取組の様子

「みんなが楽しんでくれたことにやりがいを感じました。」



扇橋小学校



自ら学び 響き合う扇橋の子

取組内容



「体験や探究的な活動を通して自分の考えを広げ深める児童の育成」を副主題として取り組む、校内研究2年目の実践です。

「粘り強く考える力を身に付けた児童」を目指し生活科や総合的な学習の時間で、SDGsを切り口に各学年で活動を重ねると、「考える力」は、「自分事として実行する力」や「生活や他教科の学習に生かす力」となり、児童が自ら「自分たちにできること」を考えるようになりました。

自分たちでできるSDGsとして、

- 「PTAこども祭りでのごみステーションを管理するボランティア(4年)」
- 「バケツ稲を脱穀・精米してご飯の試食会(5年)」
- 「カタツムリを一人一匹育てて仲良くなる作戦(1年)」を主体的に実践しました。

取組のPOINT



- ☑ 実施方法や実施計画についても児童が計画。
- ☑ 体験や探究的な活動のサイクル「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の2巡目は特に、児童の主体的な活動となるようにし、児童が計画した実践は実現する。
- ☑ 実践したいことなど児童の希望や意見が分かるようにGoogleフォームを活用。

取組の様子



「私たちにできることを実践できた。他の人にもSDGsの大切さを広められた。」「ごみステーションの仕事で学校の役に立てうれしい。」



こども祭りでのボランティア中の4年生



カタツムリの世話をする1年生



工夫して脱穀中の5年生

元加賀小学校

みんなでつくろう

【スマイルプロジェクト】

取組内容

毎年、行われている「異学年交流」の取組(ペア学年による交流や遠足)に加え、今年は【自治】を意識し、児童主体の取組を取り入れた。児童の考える「学校の課題」を、自分たちの活動でよくしていこうとする取組を実施した。

■取組んだ時期→6月、10月

■代表委員会が中心となり、各学級で「直したいな」「もっとよくしたいな」と思っていることを集約し、それぞれの委員会に課題をふった。各委員会で、全校にどう呼びかけていくかを考えた。

【全校に呼びかけた課題】

- ①6月→友達同士の暴言や「あおり」を減らしたい
- ②10月→読書の時間の立ち歩きをなくしたい

帰りの会で取組めた人数の振り返り、ポスターを掲示

取組のPOINT

- ☑ 教師ではなく児童の困り感に目を向け、呼びかけも児童が教師に訴える形とした。児童からの強制になるのではなく、それぞれの課題について各学級がどのように取り組むかを話し合い、学級ごとに実践した。
- ☑ 仲間同士で、どうすれば学級がよくなるのか考え合える雰囲気が出た。

取組の様子

人に言われて改善するのではなく、自分の意思で「こうなりたい。」という意識が出てきた。



ペア学年のよいところ探し交流



給食委員会の呼びかけポスター



読書時間の各学級の状況をも守り

毛利小学校

みんな仲良く当たり前のことができる楽しい学校
「人との関わりを深めるふれあい月間」

取組内容

「友達の良いところは、いつも笑顔なところですよ」「いつもやさしくしてくれてありがとう」

これらは、6月のふれあい月間に玄関掲示された「いいところみつけの木」に書かれた言葉です。代表委員会が、毛利小を「みんな仲良く当たり前のことができる楽しい学校」にしたいと考え、その実現への第一歩として「いいところみつけの木」の作成を各学級に呼びかけました。どの学級も心温まるすてきな言葉であふれました。

さらに、11月のふれあい月間では、各委員会によるこども発想、こども発信による様々な取組を行いました。いじめ防止の素地となる「人との関わりを深める」取組により、こども一人一人が輝き、互いのよさが発揮されています。

取組のPOINT

- ☑ 6月、代表委員会が中心になり、ふれあい月間の取組内容・方法を考案。
- ☑ 9月、代表委員と各委員長が一堂に会し、拡大代表委員会を開催。
- ☑ 10月、各委員会で取組を立案。
- ☑ 11月、各委員会による「人とのかかわりを深める」取組を実施。

取組の様子

図書委員会「朝の読み聞かせ」・保健委員会「相談室」・環境整美委員会「SDGsクイズ」などを実施しました。



東川小学校

開校150周年記念集会

取組内容

今年度、本校は開校150周年を迎えました。そこで、全校児童で協力し合って、「東川小学校の誕生日をお祝いしよう。」ということになりました。東川小学校の長い歴史を知り、自分たちの学校を大切に思う気持ちを育む集会を計画しました。

集会委員会が学校歴史クイズを作り、全校児童で学校の歴史を学びました。そして、全クラスがクラス紹介を披露。クイズを交えて、全校児童が楽しく交流しました。

最後に、「気球に乗って」を全員で歌いました。途中でマスコットキャラクターの東仙人が登場し、集会は大いに盛り上がりました。

取組のPOINT

- ☑ 実施方法・実施計画について児童が企画。
- ☑ 様々な飾りを各学年が分担し、全校児童で取り組んでいることを常に意識。
- ☑ クラス紹介の作成の際、Chromebookを活用し、一人一人がクラス紹介を共有。

取組の様子

東川小学校の歴史を学んだりみんなでお祝いすることができたりして、楽しかったです。



豊洲小学校

みんなで”Enjoy English!”

取組内容

今年度、豊洲小学校では「主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」を研究主題として外国語科の研究を進めています。その中で、児童がより英語に親しみ、楽しく活動できることを考えて、取り組んでいます。

- 英語による校内放送(放送委員会)
- 英語によるあいさつ運動(代表委員会)
- 英語に親しむための校内掲示(掲示委員会)
- イングリッシュウィークでの、英語スピーチ
- クラスルームイングリッシュでの積極的な会話
- イングリッシュデイ(月1)では、Good morningに始まり、授業のあいさつや帰りのあいさつ SeeYou!まで、積極的に英語を話す1日となっています。

取組のPOINT

- ☑ 代表委員会や委員会活動など、児童が自ら英語を話す機会を考えて取り組みました。
- ☑ 外国語科の学習やイングリッシュデイ以外の活動でも、自然と英語を発話するようになりました。
- ☑ 日常的に英語を楽しく話すことで、外国語活動や外国語科への意欲が高まり、学びに向かう力の向上につながりました。

取組の様子

「Good morning！」
代表委員会のあいさつ運動の様子です。

英語でスピーチをしています



英語による朝の放送風景です



豊洲西小学校

～西小をもっと素晴らしい学校に～
「西小きらきらWEEK」

取組内容

7月10日～14日までの5日間に西小全児童を対象に「西小キラキラWEEK」を実施しました

「あいさつマスター」



「歩きマスター」

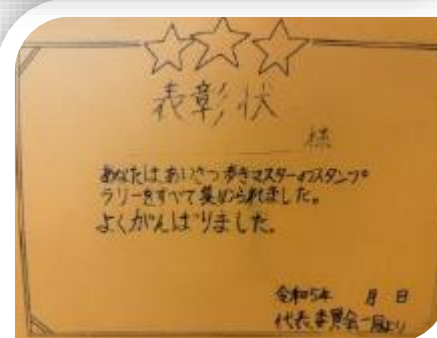
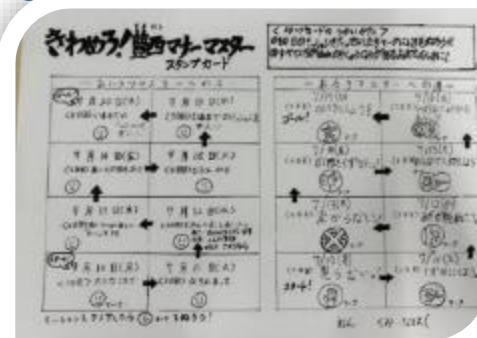


「あいさつ週間」を実施しました。毎朝代表委員会が門に立って、あいさつをより元気よくできるように活動しました。「歩きマスター」は「ミッションカード」に書かれている内容をクリアして、より校内の歩き方が良くなるように、代表委員会が考えて実施しました。

取組のPOINT

- ☑ 児童主体（代表委員会）で活動を企画した。
- ☑ 全校児童が意欲的に取り組めるよう「ミッションカード」を作成し、達成した児童には表彰状を渡した。
- ☑ ふわふわ言葉を全校児童から集める際に「グループフォーム」を活用した。

取組の様子



豊洲北小学校

こども主体のいじめ防止の取組

取組内容

委員会活動からの発信 第5・6学年 6月から

- ・運営委員会「いじめ防止ビデオ」の制作
- ・図書委員会「いじめ防止」に関わる図書紹介
- ・あいさつ推進委員会「GOOD」あいさつ賞の取組
・・・あいさつのキャッチフレーズ
- ・保健委員会「睡眠」の大切さのスライド作成・発表
・・・心身が健康に過ごすための方策

学年・学級の取組

- ・第4学年 6月から
「いじめ防止ルール」を各学級で話し合って決める
- ・第6学年2組 4月から
よりよい学級づくりに向けたこども主体の取組
- ・全学年 4月から
帰りの会「いいところみつけ」の実践

取組のPOINT

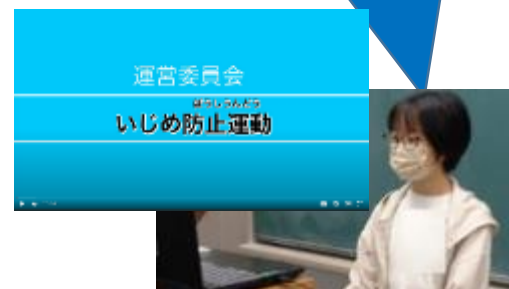
- ☑ 「みんな、かがやく」の実現に向けて、生活における問題点や課題を自分事として捉えるように意識した。
- ☑ いじめについて深く考えることで、いじめは絶対に許されない行為であることを自覚し、いじめ防止に向けて協力し合い、より良い学校生活を作り出そうとする自主的な活動が見られるようになった。
- ☑ 話し合いをする際に、Chromebookでオクリンクやジャムボードを使い、個人の考えを学級や委員会で共有して、まとめることができ、有効的だった。

取組の様子

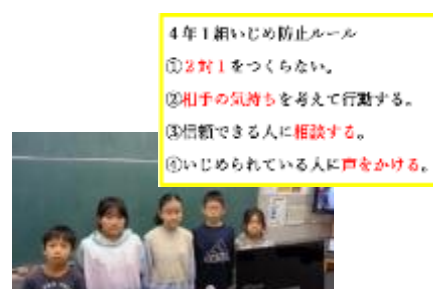
- ・いじめをゼロにするために、運営委員会で協力して取り組みました。
- ・全校のみんなが、思いやりの心をもって生活してほしいです。



図書委員会「いじめ防止」に関わる図書紹介



運営委員会「いじめ防止ビデオ」の制作・発表



第4学年 各学級の「いじめ防止ルール」

東雲小学校

東雲小学校45周年お祝い集会

取組内容

・目的

学校の45周年記念をお祝いすることを通して、自分たちの母校に愛着をもつ。

・時期

10月

・取り組んだ学年

全校児童 ※企画運営の中心は、代表委員会の児童

・主な内容

①全校一人一人が作成した『わたしの好きな東雲小の場所カード』を組み合わせた「誕生日ケーキの披露」

②グーグルミートを使って校内の様々な場所から生中継で繋いだ「ここはどこでしょうクイズ」

③4年生児童による歌と合奏、お祝いの呼びかけ

取組のPOINT

☑ 代表委員会の児童が集会を企画運営。教師は、児童の「やりたい」に寄り添い、その実現に向け、助言や支援に徹した。児童が「友達と協力して自分たちの力で成功させた！」と感じられるようにした。

☑ グーグルクラスルームを活用して、代表委員会の児童が練習や準備の時間を計画し、共有できるようにした。休み時間やChallengeWednesdayを利用して、すすんで取り組む様子が見られた。

取組の様子



有明小学校

みんなかがやく **個別最適な日常**

取組内容

有明小では、個別最適な学びを実現するツールの1つとして、全学年でICTが日常的に活用されています。ある日の5時間目、教室をのぞいて見ると…(1年生)漢字の練習や小テストなど、自分で取り組む内容を決めていました。(2年生)自分で問題の難易度を選び、かけ算九九の練習をしていました。(3年生)課題が終わった後に、ドリルパーク、タイピング練習…やることを自分で決めて活動していました。(4年生)問題演習は紙か端末かを自分で選んで取り組んでいました。(5年生)体育の振り返りは端末を使って可視化し、学びを積み重ねていました。(6年生)自分がしたいことに応じて、端末を活用することに、先生の指示や許可を得る姿はありませんでした。

取組のPOINT

- ☑ 朝会・集会・委員会活動等で、また、学級・学年からの発信で、こども主体で進めた「こどもまんなか学校」を、日常・授業場面でも実践する。
- ☑ 1年生から積極的にchromebookを活用することで、こどものICT活用能力を高め、学習の中で使いやすくする。

取組の様子



枝川小学校

みんな かがやく「団体競技」

取組内容

運動会で行っていた団体競技を、今年度は、10月の学校公開に行いました。コロナ禍で、しばらく行っていませんでしたので、4年ぶりの開催となりました。

今年度は、

低学年 … 玉入れ

中学年 … 綱引き

高学年 … 騎馬戦(5・6年生 合同で実施)

の種目を行いました。仲よし学級の児童は、それぞれの学年種目に加わりました。

保護者の方に見ていただくことで、子供たちはいつも以上に張り切って活動をしていました。

取組のPOINT

- ☑ 発達段階に合わせた種目や内容を選定したことで、みんなが夢中になって運動ができた。
- ☑ 「みんなで力を合わせ競技を行うこと」の楽しさに気付く子が多かった。
- ☑ 玉入れのダンスなどをクラスルームにアップロードし、家庭で練習ができるようにした。

取組の様子

久しぶりの団体競技、楽しかったです！運動会も頑張ります。



辰己小学校

児童が企画する「なかよし班」と挨拶運動

取組内容

辰己小学校では6年生が自ら企画し、「なかよし班」の取組を行っています。

○年間を通して「なかよし班遊び」

・・・遊び方や遊ぶ場所を6年生が企画し、他学年に提案し、異学年交流で遊びました。

○10月に行った「全校遠足」

・・・6年生が低学年児童の手を取り、夢の島公園まで歩きました。6年生が遊びを企画し、なかよし班ごとに遊びました。

○年間を通して代表委員会が企画する「挨拶運動」

・・・代表委員会の児童が話し合い、校門に立って挨拶のお手本を見せました。ポスター制作をし、掲示もして「自ら目を見て元気に挨拶」と呼びかけました。

取組のPOINT

- ☑ 実施方法・実施計画についても児童が企画。
- ☑ 高学年には低学年に対する思いやりが醸成され、低学年には、高学年に対する感謝の思いや尊敬の念が育成された。
- ☑ 児童のポスター制作にChromebookを使用。

取組の様子

「元気に挨拶してくれて嬉しかった」などの感想がありました。



第二辰巳小学校

みんなが活躍「みんな、かがやく」集会

取組内容

●Challenge Wednesday発表集会

毎週水曜日のChallenge Wednesdayの取組で調べたことを全校児童にプレゼンテーションする機会を年14回計画しています。集会当日は司会として活躍する児童や、SDGsとの関連を示す児童、効果的な質疑応答をする児童の姿が見られ、発表者だけでなく多くの児童が活躍しています。

●なかよし班ミニ運動会集会

10月の児童集会では縦割り班を生かしたなかよし班ミニ運動会集会を実施しました。「二辰小のみんながさらに仲よくなるようにしたい」と集会委員会が計画しました。仲よし班長のリーダーシップや、それを支えようとするフォロワーシップが見られました。異学年であっても互いの良さを認め合おうとする姿が見られました。

●ビブリオバトル学年集会

5、6年生は本の紹介をするビブリオバトル集会を学年で実施しました。体育館の電子黒板を使い、本の魅力を伝えるプレゼンテーションを学年全体に向けて行いました。他学年児童や校長・副校長・司書教諭も参加し活発な議論が交わされました。発表者や司会グループ、本の魅力を深掘りする質疑応答には盛大な称賛の拍手が送られていました。

取組のPOINT

- ☑ 児童の協働的な学びを促すために、複数人で効果的なプレゼンテーションができるようアドバイスしています。
- ☑ 校長の講評を聞いて、さらに意欲的に取り組もうとする児童の姿が見られました。
- ☑ 振り返りでは、活躍している児童を称賛できることを価値付けることで、さらにみんながかがやく活動を促しています。

取組の様子

「緊張したけど、良い経験ができた。」「拍手をもらえて嬉しかった。」といった感想がありました。「もっと調べたい」「わたしも発表したい」と意欲になる児童の姿が見られています。



なかよし班ミニ運動会集会



Challenge Wednesday発表集会



ビブリオバトル学年集会

第一亀戸小学校

みんな、かがやく「なかよし班」

取組内容

本校では、1年生から6年生で編成された縦割り班(なかよし班)活動が年間を通して行われています。

なかよし班活動には、月1回、6年生が中心となり企画・実施する「なかよし班遊び」の時間があり、定期的に異学年交流が行われています。

また、毎年秋に実施している「全校遠足」でも、一緒に活動をしたり、お弁当を食べたりと交流を深める機会が設けられています。さらには地域の方々の協力もいただきながら実施する「地域清掃」もなかよし班で協力して行っています。

これらの活動は、6年生をリーダーとしてこどもが主体となって活動しています。異学年の交流を通して、低学年は高学年に憧れの気持ちを持ち、共に過ごすことに喜びを感じています。高学年は、みんなのためにどうするかを考えながら活動することで、高学年としての自覚や責任を意識していきます。それが、学年を超えたよりよい人間関係を構築し、思いやりや感謝の気持ちを育み、「年上を慕い、年下に優しい 一亀の子」を育てています。

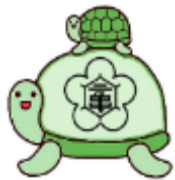
取組のPOINT

- ☑ 実施方法・実施計画についても6年生が中心となり話し合って決めていきます。
- ☑ 交流する内容を考える際に、上学年だけでなく、低学年の児童も一緒に合意形成をします。
- ☑ 計画を立て、めあてを意識して活動し、振り返りをしっかり行うことで次の活動に生かしていく、PDCAサイクルを大切にしています。

取組の様子

「顔と名前を覚えてくれて、校内でも声をかけられて、うれしいです！」





We ♥ Nikame

第二亀戸小学校

みんなかがやく「二亀音頭」

取組内容



「二亀音頭」は、二亀小に代々伝わる踊りです。にこにこ交流で、兄弟学年のお兄さんお姉さんに踊りを教わり、教室でも練習をするにかめっ子！上手になった踊りを二亀音頭集会で輪になって楽しく踊りました。地域の皆様(二亀音頭を始めた頃のPTA会長様や二亀音頭の歌を担当された方、当時6年生としておはやしを担当された方)も駆けつけてくださり、二亀音頭が引き継がれていることを嬉しそうに見守って下さいました。盆踊りのような、すてきな光景が校庭いっぱいに広がりました。

にかめっ子、みんなかがやいていました！

<1年生ハインタビュー>

6ねんせいとおどれてたのしかった！
おどりをおぼえられてうれしかったよ。

<6年生ハインタビュー>

1年生が踊れるようになってにこにこしてくれてかわいかったです。
二亀音頭は、ダンスより踊りやすく、盆踊りのようで楽しいです。
下級生に伝えて、「二亀音頭」を引き継いでよかったです。



取組のPOINT



- ☑ 練習は、にこにこ交流(兄弟学年)の中で上級生と♥
- ☑ 集会委員がChromebookで踊りを撮影し、
クラスでも踊りを見ることができるよう♥
- ☑ 二亀音頭集会は、全校参加で盆踊りのように♥
- ☑ 「二亀音頭」を引き継ぐ気持ちを大切に♥

取組の様子



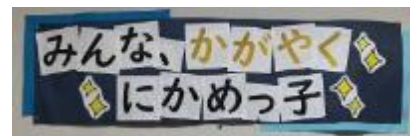
駆けつけてくださった地域の皆様も笑顔♥



引き継がれていて
うれしいです！
こどもたちも
うれしそうで
よかったです！

あの時と同じ
笑顔ですね

コロナで途切れてしまい、心配していたけれど
またみんなで踊ることができて本当によかったです！



二亀音頭集会♥笑顔が光るにかめっ子



上級生と練習中



香取小学校

一人一人が輝く学級活動

取組内容

【第1学年】学級活動の取組として、「みんなで あきまつりをしよう」という議題に向けて、話し合い活動を行いました。

子どもたちが、学級全員で楽しむためには何が必要かを考え、あきまつりについての意見を出し合いました。「輪投げ」や「くじ引き大会」などの提案がされた中、「これでは、みんなが楽しめないからもっと工夫しよう」などの意見が出されていました。

学級をよりよくするために、友達の意見を聞いて自分の意見を深めながら、一人一人の子どもが主体的に考えていく活動となりました。

取組のPOINT

- ☑ 話し合いの約束を意識させるために、「話し合い名人になろう」の活用。
- ☑ こどもの意欲付けのために学級会での発言を色分けして掲示。
- ☑ Chromebookのオクリンクを活用し、一人一人の考えや意見を提示。

取組の様子

学級をよりよくするために、みんなで考えて意見を出し合いました。



浅間豎川小学校

みつげようユニバーサルデザインin江東

取組内容

近年注目されているSDGsの学習に4年生が取り組みました。誰もが使いやすく安全で安心な環境のためSDGs17の目標のうちの「3 すべての人に健康と福祉を」「11 住み続けられるまちづくりを」などに着目し、こどもたちがSDGsをより身近に感じるために主体的に学んだ実践です。

年間を通して取り組む中で、他学年に紹介したいということもこどもたちの意見も取り入れることになりました。

まず、夏休み前は体験活動などを通して住みやすさ住み辛さについて考えました。夏休み中は身の回りの生活の様子を調べ、一人一人のテーマを考えました。秋になり調べたことをグループごとにスライドショーにまとめ、5年生に向けて発表しました。

取組のPOINT

- ☑ 年間を通した取り組み
- ☑ 体験的な活動を取り入れる
- ☑ 身近な話題を取り上げることで実践に繋げる
- ☑ スライドショーを使った発表
- ☑ 4年生が他学年に向けて発表する協働的な学び

取組の様子

体験→課題設定→調べ学習→他学年に発表と広がりのある学習で学びを深めました。



水神小学校

水神鼓笛

取組内容

交通安全パレード 今年度も、城東警察署の方、トラック協会の方、亀戸5丁目、8丁目の方々、PTA役員の方々からご協力をいただき、交通安全パレードを行うことができました。今年は4、5、6年の演奏にして、パレードのコースをコロナ以前に近い形で行いました。沿道では地域のみなさまが温かい笑顔、拍手をいただき、こどもたちはとても嬉しそうでした。日頃音楽の授業を中心に練習してきたこどもたちも充実感に包まれて終えることができました。

鼓笛譲渡式 今年も校庭にて沢山の保護者、地域の方々に見守られながら水神小学校の伝統である鼓笛が6年生から5年生へ譲渡されました。全校児童で取り組んでいるこの水神鼓笛は授業を使つての練習やこども同士の教え合い、楽器・バトン・カラーガードは講師の先生によるレベルアップの時間などを設け、時間をかけて練習してきました。低・中学年もまだ楽器に慣れない中でも、堂々と演奏をしました。水神小学校ならではの伝統ある行事です。この貴重な経験を元に思い出を作り、音楽を通じて大きく育ってほしいと思います。

取組のPOINT

- ☑ 一人一人がしっかりと演奏できるように、異学年での 教え合い活動を取り入れたこと。
- ☑ 教え合いを通して異学年児童同士が友達になれた。また、初めての楽器にも挑戦しようとする気持ちと最後まで取り組む姿勢を育むことができた。
- ☑ 行事を通して培った「主体性」がその後の学校生活でも見られるようになった。

取組の様子

「在校生のみなさん、水神鼓笛を頼むよ」
「がんばります！」



第一大島小学校

「一大小をよくしようプロジェクト」

～特別活動で学校が変わる～

取組内容

児童会代表委員会では、「みんなが仲よくなる」「学校を楽しくする」をキーワードに「一大小をよくしようプロジェクト」を始動しました。これは「児童の発意発想」を生かして、**自分たちの学校を自分たちの手で**より良くしていくとする取組です。

本校は特別活動を通して子供たちの豊かな心の育成を図ります。特別活動の充実で学校が変わります。

主な取組

◇代表委員会「おはポーズミッション」
あいさつ当番の代表委員が週ごとにポーズを決め、そのポーズと一緒にお互いがあいさつする活動です。

◇ボランティア委員会「エコキャップ投票」
A・B 2つのお題を決め、自分の好きな方にエコキャップで投票し、楽しみながらエコキャップを回収します。

◇体育委員会「スポーツWeek」
中休みや昼休み、校庭・体育館にスポーツブースをつくり、普段とは違うスポーツをみんなで楽しめます。

取組のPOINT

- ☑ 「こども まんなか」の取組
- ☑ 児童の主体的な取組
- ☑ 「みんなが仲よくなる」「学校を楽しくする」ために考えた取組
- ☑ 全校の児童全員がかかわれる取組
- ☑ 異学年で交流が図れる取組



取組の様子

各委員会がそれぞれアイデアを出して、学校をより良くするための取組を考え、計画・実行しました。

エコキャップ投票



今日のお題は「焼き肉」と「You tuber 焼き肉」です

スポーツWeek



参加希望者全員リレー
勝敗関係なしでみんなが応援!

今週はピースサインでごあいさつ
元気な声がひびきます。

おはポーズミッション



第二大島小学校

にこにこ笑顔で 全校遠足

取組内容

10月に全校遠足がありました。全校遠足では行きから帰りまで、縦割り班「二大っ子グループ」で活動しました。その実践報告です。

児童が主体的に活動するためには、遠足当日にどんな活動をするのか、児童全員が理解することが大切と考え、事前指導を丁寧に行いました。

①6年生を対象にした事前指導

全校遠足のめあて「いろいろな学年の友達と遊んだり協力したりして、仲を深めよう」を受け、そのめあてを達成するためには、グループのめあてをどうするか、どのようなグループ遊びをしたらよいのか、班長である6年生がまず考えました。この活動を通して、全学年が楽しく過ごせる遠足にしたいという思いが生まれました。

②「二大っこグループ」での話し合い活動

縦割り班の全学年のメンバーで、グループ遊びを決めました。グループ全員がめあてを達成するためにはどんな遊びがふさわしいのか考え、意見を出し合いました。6年生が中心となり、グループの児童全員でグループのめあて、グループ遊びを決めました。

取組のPOINT

- ☑6年生を対象とした事前指導。6年生がリーダーシップを発揮できるよう、全校遠足のめあてや活動内容を共通理解。
- ☑縦割り班「二大っ子グループ」で話し合い活動。グループのめあて、グループ遊びを全学年で決定。
- ☑「遠足のしおり」を活用。当日、6年生がしおりを身に着け、自分たちで決めた活動内容をすぐに確認。6年生のリーダーシップの下、グループの児童全員で協力し合って活動。

取組の様子

グループごとに決めた遊びで仲が深まりました。



第三大島小学校

三大縦割り班活動

～どの子も楽しく過ごせる居場所づくり～

取組内容

本校では、**Dream**(夢をもって)**Dynamic**(生き生きと)**Dramatic**(ワクワクする学校)の3Dをモットーに教育活動に取り組んでいます。その一つが縦割り班活動です。全学年が主体的に関わり、**誰もが楽しめる環境を作ろうと**、高学年が中心となって年間11回の活動に取り組んでいます。

11月6日(月)には全校遠足を実施し、大島小松川公園で縦割り班オリエンテーリングを行いました。帰校してから校庭で食べた「青空給食」を含め、**楽しい時間を過ごすことができました。**

この取組を通して、下級生は上級生への**憧れの気持ち**を、上級生は下級生を**思いやる気持ち**を育むことができました。

取組のPOINT

- ☑ 各学年が、どんな気持ちで参加するか、毎回確認して活動に参加した。
- ☑ 6年生が活動内容を決め、下級生の意見を取り入れて進めた。3回に1回はポッチャを楽しんだ。パラリンピックスポーツに親しみ、理解も深めた。
- ☑ 年間の後半は5年生が中心となって活動を企画し、リーダーとしての意識が高まった。
- ☑ 運動会や音楽会の練習・本番でも異学年の活動を見合い、認め合うきっかけとなった。

取組の様子



第四大島小学校

みんなかがやく！！
「Challenge Wednesday展覧会」

取組内容

毎週水曜日の「Challenge Wednesday」では、自主学習に取り組み、取り組みたい課題を自分で**考え、決め、チャレンジ**しています。

年度当初、各クラスでオリエンテーションを開き、自主学習の進め方を確認しました。「好きな動物について調べてみよう。」「今日の理科の学習で学んだ台風についてもっと詳しく知りたい。」「長縄チャレンジのためにコツを調べよう。」など、興味のあることや学校生活での出来事などを基に課題を決めています。年2回、「**Challenge Wednesday展覧会**」を開催し、異学年の自主学習ノートを見合い、互いに高め合っています。

取組のPOINT

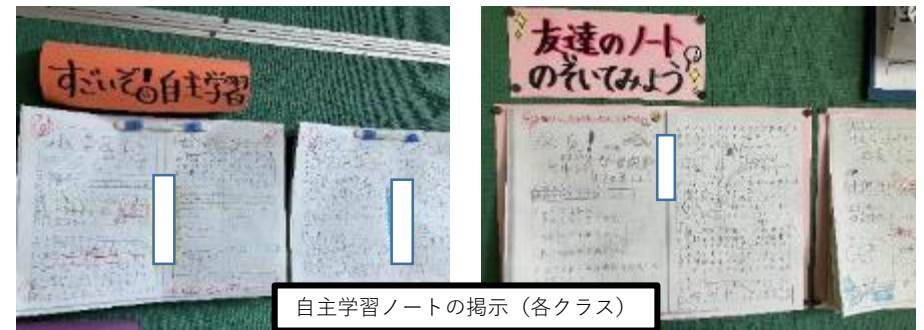
- ☑ 自主学習の進め方をオリエンテーションで確かめ、低学年からの取組を実現。
- ☑ 年に2回、「Challenge Wednesday展覧会」を開催。学び合い場となった。高学年への憧れも育まれている。
- ☑ クラスでの掲示も活用し、こどもたちの対話が活発に。身近な友達の取組を知ることが視野を広げるきっかけに。

取組の様子



Challenge Wednesday展覧会

課題の見つけ方やまとめ方など、互いのノートを見合うことで学び、意欲も高まっています。



自主学習ノートの掲示（各クラス）

第五大島小学校

異学年交流 「きょうだい学年遠足」 「たてわり班活動」

取組内容

児童一人一人がお互いのことを知り、自己や他者を尊重し大切にしようとする気持ちを育てるために、全学年でのたてわり班と、1・6年、2・4年、3・5年のきょうだい学年での交流に取り組んでいます。

たてわり班活動では、みんなで意見を出し合い遊びの内容を決める「たてわり会議」と、みんなで決めた遊びを実際にする「たてわり遊び」、一人一人が得意なことを1分程度発表し合う「たてわり発表」の3つの活動を行っています。10月の「たてわり発表」では2年・5年・仲よし学級の児童が、工作やけん玉、あやとり、音読、プログラミングで作ったゲームなど、それぞれが得意なこと、好きなことを生かした発表を準備し、披露しました。

また、10月に開催したきょうだい学年遠足では、きょうだい学年ごとに遊びを企画し、公園で遊びました。6年生だけでなく、4・5年生も上級生としての役割を担い、下級生の友達にやさしく接することができました。

取組のPOINT

- ☑ 遊びの内容決めや運営は、児童主体で行う。
- ☑ 朝の学びタイムの時間に、たてわり会議や遠足の事前顔合わせの時間を設け、下級生の児童も一緒に企画を考える。
- ☑ 遊びの計画表は、全学年の児童がいつでも確認できるように、Chromebookのスプレッドシートを活用。

取組の様子

きょうだい学年で楽しく歩きました。お兄さんやお姉さんとなった上級生の児童は、ペアの友達にやさしく話しかけていました。



大島南央小学校

みんなでつくった「運動会」

取組内容

毎年9月に実施する「運動会」では、4年生以上の代表委員会が中心となってスローガンを作成します。今年は、「一人一人が全力でかがやく運動会」でした。このスローガンのとおり、一人一人が主役としてかがやき、みんなで創り上げた運動会となりました。応援団が結成され、振り付けやかけ声を自分たちでも考えながら練習に取り組みました。全校に応援時のかけ声を教えることもしました。各学年の表現運動では、グループごとに動きを考え、全体のバランスをみながら練習を重ねました。当日は、放送係や得点係などの係活動にもこどもたちが主体的に取り組み、充実した運動会となりました。

取組のPOINT

- ☑ 各学級での意見を大切にしながら代表委員会が話し合い、児童によるスローガンとしてまとめた。
- ☑ 係活動や表現運動では、児童が工夫した内容を加えて実施した。
- ☑ 応援合戦や全校競技では、代表の高学年児童が低学年児童に直接教え伝える場を設定した。

取組の様子

一人一人が主体的に取り組んだので、笑顔あふれる運動となりました。



砂町小学校

あいさつ運動



取組内容

11月の「ふれあい月間」に、自分や友達の行動をふり返り、毎日を楽しく・気持ちよく過ごすための取組を考えました。その中で、5年生が実践をした「あいさつ運動」の取組を紹介します。

いつもは、校長先生や日直の先生等が、校門であいさつを行っているのですが、今回はこどもたちがすすんであいさつ当番を行うことになりました。

ふれあい月間の中で、毎朝5年生が8名くらい、正門と北門に立って、登校してくる砂町小学校の友達にあいさつをします。元気で気持ちのよいあいさつは、砂町小学校のこどもたちばかりではなく、砂町小学校の前を通る地域の方も、応えてくれるようになりました。

取組のPOINT

- ☑ 「自らすすんで気持ちよいあいさつ」の実現のために、こどもたちが主体となった活動
- ☑ こどもたち同士の「ふれあい」を大切にするために自分たちで考えた方法
- ☑ 活動の前後で、全校朝会や校内放送で活動の目的を全校に周知

取組の様子

「緊張したけど、あいさつをすると、気持ちがすっきりしてやる気が出た。」



「道路の向かい側の人も笑顔であいさつしてくれたのが嬉しかった。」



第二砂町小学校

～二砂っ子若手起業家委員会～

取組内容

本校では、5年生の総合的な学習の時間を利用して起業家教育に取り組んでいます。

児童に身に付けさせたい力として【チャレンジする力】【協力する力】【社会貢献しようとする力】の3つの力を設定しています。児童は5～6人で会社を作り市場調査・事業計画・商品企画・融資を受ける・製造・広告活動・販売・決算・振り返りの活動を行います。

このプロセスの中で、最後まであきらめない力・やりきる力・自分で考える力など探究学習で求められる資質を育成できるよう設計されています。児童は、自分で考え行動し、意見を出し合ったりと答えのない活動に熱中していきます。

取組のPOINT

- ☑ 学校の教育目標を1年生に広げていく活動を通して、本校の良さに気付いたり、本校の一員としての自覚をもてたりできるようにする。
- ☑ この実践を通して、児童は自己肯定感・想像力・責任感・協調性・コミュニケーション能力を育成。
- ☑ 1年生全員にGoogleフォームを用いてアンケートを実施。

取組の様子

「自分たちで色々考えてできたから楽しかった」
「本物の社長さんから教わって緊張した」



第三砂町小学校

「我が学校 我が地域」

取組内容

【取組の目的】

自分たちを支えてくださっている地域の方たちのために自分たちができることを考え、地域貢献をしていく。

【取り組んだ時期】

9月から12月

【取り組んだ学年】

第6学年

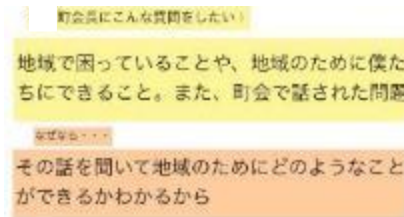
【活動の概要】

地域貢献のために自分たちで考えた9つのプロジェクトチームを結成し、情報収集や情報の発信、インタビューやゴミ拾い等、計画を立てて実行した。また、地域貢献の思いをもって地元パレードで金管鼓笛隊の演奏を行った。

取組のPOINT

- ☑ 地域の方との連絡や交渉も子供たちが行っている。
- ☑ 自ら考え、行動する力が向上している。
- ☑ スプレッドシートを活用して、各チームの進捗状況や悩み、次回行うこと等を共有し、自チームの活動に生かすことができるようにしている。

取組の様子



地元の町会長にどんなことを聞いたらよいかを、オクリンクで情報を共有してまとめた。



街をきれいにチームは、地域にどれくらいゴミが落ちているかを調査し、ゴミマップを作成。



防災チームは地域の防災訓練のについてポスターや放送で校内に発信し、自らも参加した。



砂町パレードでは「地域のために」という思いをもって演奏を披露した。

第四砂町小学校

90周年

「こどもも楽しむ、先生も楽しむ」

取組内容



本校は、今年90周年を迎えます。この90年の歳月を支えた多くの人々に感謝するとともに、この良き伝統をつなぎ、さらによりよい学校を作り上げていくための取組みが6年生を中心に行われています。具体的な取組み内容は、

・運動委員会：90秒チャレンジ

～クラスごとに90秒の鬼ごっこ～

・代表委員会：90周年記念集会／花壇の花のデザイン

・放送委員会：四砂クイズ／校歌の歴史紹介の放送

・5年生：総合的な学習の時間【知ろう四砂、伝えよう四砂】

・1年生～4年生：90周年にちなんだ俳句作り

学校全体で楽しんだり、学んだりできる取組みが盛りだくさん！こどもも、先生も、楽しんで学校に通える第四砂町小学校です。

取組のPOINT



- ☑ 四砂小90年の歩みを学び、周年を祝うためのアイデアをこども達が出し合う。
- ☑ 代表委員会を基軸として、立案、企画、実施までをこども達が主体的に取り組む。
- ☑ 教員はこどもの柔軟な発想を生かし、豊かな活動を作り上げていく。

取組の様子



こども達も先生も、全力参加！
みんなで作り上げるって楽しい！



第五砂町小学校

みんなでつくる 「個性かがやく展覧会」

取組内容

12月2日(土)の展覧会では、5年生が来校されたお客様に向けて、子ども学芸員として活動しました。各学年、仲よしの作品紹介の他に、自分がおすすめしたい作品のよいところを紹介しました。保護者の方、地域の方から「それぞれの作品をじっくりと鑑賞することができました。」と好評でした。

展覧会の鑑賞は、各学年ごとの他に、ペア学年の鑑賞を行いました。異学年交流を年間通して行う計画になっていて、1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアになります。仲よし学級は、それぞれの学年に参加しています。短い時間ながら、楽しい活動になりました。

取組のPOINT

- ☑ 紹介する作品選び、紹介内容は5年生の児童が主体的に行った。
- ☑ 異年齢での交流は、お互いに親しみをもち、年下の学年は、言葉掛けや行動を学ぶ機会になった。
- ☑ 仲よし学級は、Chromebookを使って鑑賞をし、感想を書いたり振り返ったりした。

取組の様子

「緊張したけど、楽しかった。」
「もっとやりたい。」
大満足の活動でした。



第六砂町小学校

みんなで協力し楽しめる
「六砂スポーツフェスティバル」

取組内容

毎年10月に開催される「六砂スポーツフェスティバル」を、6年生が中心となって企画しました。

スローガンを「みんなで協力 バトンをつなげ 笑顔でエンジョイ」とし、運動の得意不得意、好き嫌い関係なく、みんなが楽しみながら仲良くなれることを目標に、種目決めや当日の進行案づくり、練習の進行など児童が主体的に取り組みました。

「徒競走」や「表現」などの種目だけでなく、なかよし班対抗での玉入れ・綱引き・全校リレー・全校ダンスといった種目が考えられ、スポーツの多様な楽しみ方を知るきっかけとなるだけでなく、クラスや学年を超えて仲を深める「六砂らしさ」につながりました。

取組のPOINT

- ☑6年生が中心となり、国語の単元を応用して種目を考案。企画した内容が1年生でもできるか、確認をしてから再度企画。
- ☑教員はあくまでも支える立場で、アドバイスを行う。
- ☑過去のスポフェスの競技や団体に楽しめる競技をインターネットで調べて企画。
- ☑行事を通して、全体で一体感が生まれ、その後の学校生活でも 異学年間の交流が見られるようになった。

取組の様子

児童みんなで作り上げ、六砂全員で「六砂スポーツフェスティバル」を盛り上げることができました。



第七砂町小学校

開校65周年記念集会・行事

取組内容

10月28日(土)の学校公開期間に4、5、6年代表委員の児童が中心となって、本校のオリジナルキャラクター「七ちゃん」の65才のお誕生日会「開校65周年記念集会」を計画・運営しました。

七砂小の秘密や歴史をクイズ形式で紐解きながら、校内探索をし、お誕生日会場の体育館までの道中をオンライン配信しました。オンライン記念集会開会式では、お誕生会を行い、3・4校時の各クラスでの学習発表会に繋がりました。閉会式では、記念行事の位置付けで、こどもたちが司会進行を行いました。台本を練り上げ、学校の周年を自分たちで盛り上げお祝いしようと愛校心の溢れる取組となりました。

取組のPOINT

- ☑ 記念集会・行事に向けて、学校をよりよくするための横断幕のデザインを全校アンケートで決定した。
- ☑ 全校で、七砂小の歴史や地域のことを調べ、交代制で発表者と観客となり、全員の活躍の場をつくることを話し合いで決定した。交流の充実を一層図るよう、異学年交流の形式で発表を行った。保護者や地域の方も多く参加し、地域とのつながりも大切にした。
- ☑ こどもたち相互の関わり合いや、地域の方をはじめとした多様な方との関わりを通して、こどもたちが学校の歴史や伝統、そして地域の方々の大きな力によって支えられていることについてしっかりと学べたことで、七砂小がこどもや地域にとって「ふるさと」としての大切な場所を改めて実感し、笑顔いっぱい活躍していた。

取組の様子

七砂小のことがより好きになった。皆でお祝いできて良かった。



小名木川小学校

学習発表会

「発表会 みんな輝け 虹色おなぎ」

取組内容

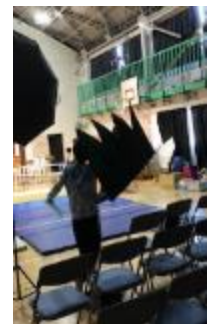
私たちの合い言葉は「小名木大好き！」です。今年から学習発表会形式にして、各学年の演目をこどもたちと先生が一緒になって、創意工夫してつくりあげました。児童のみんなが考えた今年のスローガンは、「発表会 みんな輝け 虹色おなぎ」です。低学年のみんなも、グループに分かれて自分たちで踊りやポーズを考えたり、自主的に集まって練習したりしました。高学年は、演目の内容そのものを掘り下げて、演奏や自分自身のことば、演技で表現しました。さらに6年生は、下学年の上演のお手伝いを考えつき、学年担当グループを決め、それぞれが各担任と直接やりとりをするという活動を自主的に行いました。

取組のPOINT

- ☑お互いの頑張りを たたえ合う
- ☑自らすすんで、ひきうける
- ☑どんなときも 優しい笑顔で
- ☑仲間や先生方とのやりとりを大切に

取組の様子

6年生は学習発表会の2日間とも、下学年の舞台の裏方をお手伝いしました。自分たちで考えついた新しい仕事。最後まで責任を持って、立派にやりとげました！



東砂小学校

祝・開校50周年 おみこしわっしょい！

～私たちのおみこしと地域の皆さんでつながろう！わっしょい！～

取組内容

開校50周年の節目に、児童の愛校心や地域を大切に
する心を育てるために、地域と協働して企画しました。
夏休み前から各学級で装飾について話し合い、夏休み明
けから作成に取り掛かり、道徳地区公開講座を開催した
9月30日(土)の2校時にお披露目となりました。

Challenge Wednesdayの自主学习ノートにデザ
インを描いてきたり、外で遊べない日の休み時間を活用
したりして、児童が主体的に取り組むことができました。

コロナ禍でなかなか見ることができなかった「地域の
中神輿」も大勢の保護者に担がれ、校庭を練り歩きまし
た。みんなが心をひとつに、笑顔になれた一日でした。

取組のPOINT

- ☑ おみこし作りは、学級で子どもたちが話し合い、教員
は見守りと助言のみ。
- ☑ 50周年をお祝いする機運が一気に高まった。
- ☑ Chromebookでおみこしのデザインや、クラスの
おみこし紹介文を集約するクラスもあった。

取組の様子

【保護者の感想】

子どもにとっておみこしを
担ぐのは初めての経験です。
その初めてをクラスの友達
と仲良く笑顔で、しかも大
好きな学校の校庭で経験で
きたのは一生の思い出にな
るでしょう。



北砂小学校

みんなでつくる「ふれあいタイム」

取組内容

本校は今年度、人と「関わり合う」ことを柱として異学年交流や『対話』を大切にした教育活動を進めています。

- ・年間8回 … 1～6年生が所属する縦割り班活動
- ・年間3回 … 長縄チャレンジ週間
- ・年間3回 … 幼保小連携1年生活「北砂小へようこそ」
- ・9月、10月 … 踊ろう！よさこい鳴子踊り
- ・10月 … 読書月間「読み聞かせをしよう」
- ・11月 … こども主体のいじめ防止活動
代表委員会による「ふれあい集会」
- ・12月 … みんなで楽しもう！校内ボッチャ大会
- ・12月 … 展覧会 鑑賞「よかったよカードを書こう」

取組のPOINT

- ☑ 実施方法や実施計画について、6年生または委員会活動の児童が企画。縦割り班活動の活用。
- ☑ ペア・トリオトークを生かした対話力の育成。
- ☑ みんなの意見が分かるように、Googleフォームのアンケート機能を活用。

取組の様子



北砂小を
優しい言葉で
あふれる
学校にしま
しょう！

南砂小学校

「仲よしスポーツ大会」

取組内容

取組の目的

- ・全校児童を縦割りにした異年齢集団による活動を通して他学年児童との交流を深め、豊かな人間関係を育てる。
- ・上学年児童には、下学年児童をリードしながら、思いやりのある態度を育てる。また、下学年児童には、活動を楽しみ、班の友達と協力する態度を育てる。
- ・全校で「仲よしスポーツ大会」に取り組み、協力して物事を成し遂げることにより、集団意識をもたせる。

内容

- ・「仲よしスポーツ大会」 9月22日(金)3校時
※全学級を24班に分けた「仲よし班」で活動する。
- ・今年度は、「靴飛ばし大会」「長縄大会」を実施した。

取組のPOINT

- ☑ 低学年児童の希望も聞きながら、各班でリーダー(6年生)が中心となって遊びの計画を立てています。
- ☑ 「仲よしスポーツ大会」や「お別れ給食」は、代表委員会で話し合っ、企画や準備、進行をしています。
- ☑ 毎月の遊びの中で、「Googleスライド」を使ってクイズを作成するなどの活用をしています。

取組の様子

「靴飛ばし」では、一番遠くまで靴を飛ばせた児童に、代表委員がインタビューをしました。



仲よしスポーツ大会「靴飛ばし」



代表委員によるインタビュー



仲よし班での「長縄」

亀高小学校

みんなで協力する「わんぱく班活動」

取組内容

1年生から6年生までを縦割りして、グループ(わんぱく班)を編制し、学年を超えて交流しています。

年に4回昼休みに、6年生を中心に遊びを考えて、教室や校庭、体育館やわんぱくの森(自然園)で遊んでいます。おにごっこやドローケイ、ドッジボールやクイズ、ハンカチ落としやジェスチャーゲームなど、様々な遊びを計画し、1年生から6年生まで、みんなが楽しめるように、児童が自主的にルールを工夫しています。

毎年9月頃には、「かめたかランド」があります。各学級で輪投げや的当て、ひっくり返しゲームやスーパーボールすくいなどの出し物を計画して、出店します。それらのお店を、6年生がリーダーとなってわんぱく班で回ります。

学年や学級を超えて児童が交流し、一緒に活動することで、自主性や協調性を育むことを目標としています。

取組のPOINT

- ☑ 6年生を中心に活動させることで、リーダー的資質を育成できた。
- ☑ どの学年でも楽しめる活動を考え、役割分担することで、全員が自主的に取り組む姿が見られた。
- ☑ 「かめたかランド」のお店紹介をスライドで作成し、全学年で共有した。

取組の様子

お店を回る順番を話し合い、協力してゲームに取り組みました！

